

会社概要／株式の状況（2018年2月28日現在）

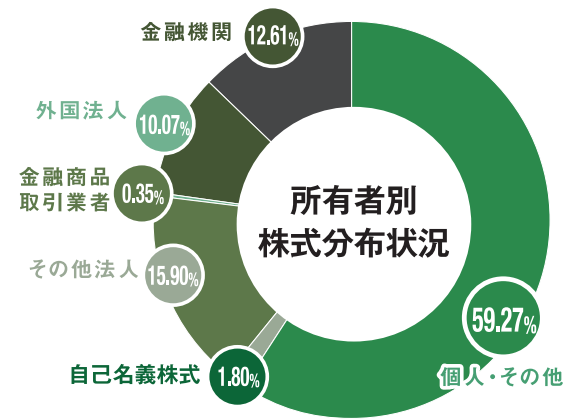
会社概要	
会社名	シンメンテホールディングス株式会社 (英文表記：Shin Maint Holdings Co.,Ltd.)
資本金	234,218千円
上場証券取引所	東京証券取引所マザーズ
従業員数	169名(連結)
本店所在地	〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL 03-5767-6461（代表）
創業年月日	1999年10月 (1999年10月1日に株式会社トレス・プロジェクトを創業。 2004年12月に商号をシンプロメンテ株式会社に変更。 2017年9月に持株会社化したことに伴い商号をシンメンテ ホールディングス株式会社に変更し、現在に至る。)
事業内容	店舗・施設の設備機器及び内外装等の トータルメンテナンスサービス事業を行う 子会社の経営管理

役員	
代表取締役会長兼社長	内藤 秀雄
専務取締役	村山 政昭
取締役	大崎 秀文
取締役	内藤 剛
社外取締役	脇本 源一
常勤監査役	上野 満雄
社外監査役	山縣 有徳
社外監査役	田村 稔郎

株主メモ	
〔事業年度〕	毎年3月1日～翌年2月末日まで
〔剰余金の配当基準日〕	8月31日 2月末日
〔定時株主総会〕	毎年5月中
〔株主名簿管理人〕	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
〔事務取扱場所〕	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(通話料無料)
〔公告の方法〕	当会社の公告は、電子公告により行います。 http://www.shin-pro.com/ 但し、やむえない事由により、電子公告によることが できない場合は、日本経済新聞に掲載しております。

シンメンテホールディングス株式会社
〒140-0011 東京都品川区東大井二丁目13番8号 ケイヒン東大井ビル 3F TEL:03-5767-6461(代表)

株式の状況			
発行可能株式総数	12,000,000 株		
発行済株式の総数	5,280,037 株 (自己株式96,863を除く)		
株主数	1,204 名		
大株主			
株主名	持株数(株)	持株比率(%)	
内藤 秀雄	1,276,800	24.18	
株式会社乃村工藝社	548,424	10.38	
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	447,700	8.47	
内藤 剛	390,000	7.38	
株式会社Shu Management	300,000	5.68	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	197,800	3.74	
合田 利恵	189,000	3.57	
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	155,100	2.93	
内藤 秀治郎	145,800	2.76	
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) SUB A/C NON TREATY	114,660	2.17	
(注) 1. 当社は、自己株式96,863株を所有しておりますが、持株比率は自己株式を除外して計算しております。 2. 持株比率は小数点第3位を切り捨てて表示しております。 その他株式に関する重要な事項 当社は、2017年11月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。			



連結財務ハイライト			
■連結貸借対照表より (単位:千円)			
科 目	第32期	第33期	
資産合計	2,044,299	4,596,128	
負債合計	1,103,913	2,836,709	
純資産合計	940,386	1,759,419	

■連結損益計算書より (単位:千円)			
科 目	第31期	第32期	第33期
売上高	4,936,002	5,648,431	9,844,776
経常利益	211,643	258,937	335,619
親会社株主に帰属する当期純利益	120,764	173,086	250,215
※当社は当期(第33期)より連結決算へ移行いたしました。そのため、第31期、第32期につきましては、単体の数値を掲載しております。			

第33期 株主通信
2017.3.1 ▶ 2018.2.28
BUSINESS
REPORT



ごあいさつ



代表取締役会長兼社長
内藤 秀雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は2017年9月1日、株式会社乃村工藝社と資本業務提携を行い、乃村工藝社の連結子会社であった株式会社テスコを株式交換により子会社化いたしました。

また、吸収分割によりメンテナンス事業をシンプロメンテ株式会社(旧:シンプロメンテ分割準備株式会社)へ承継、社名をシンメンテホールディングス株式会社に変更し、シンプロメンテ株式会社と株式会社テスコを子会社とする持株会社体制へ移行いたしました。

当社は店舗メンテナンス事業のグループ運営体制を構築し、「わたしたちは、豊かな人生、豊かな社会の実現という夢をもち、新たな挑戦を続ける集団でありたい」と願い、シンメンテホールディングスグループとして、経営理念を掲げることいたしました。

「夢新(むしん、ゆめあらた)」。

この経営理念を指針として、今後も社業の向上・拡大に努めてまいりたいと考えております。

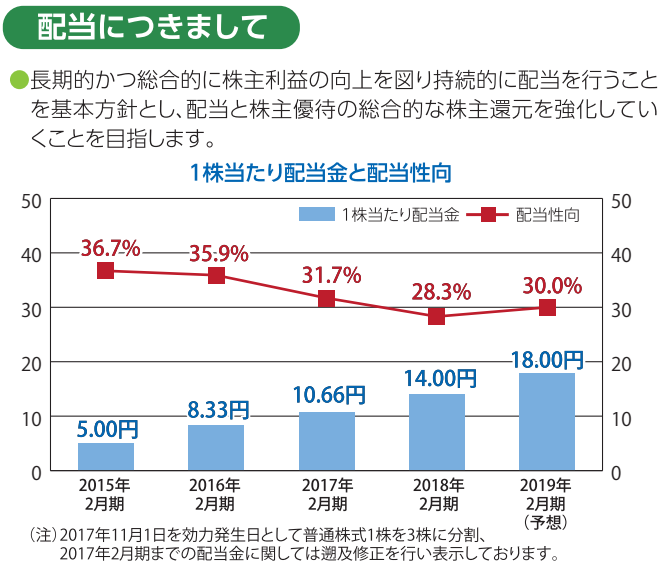
当社が取り組んでいる「夢新」な挑戦の一つが海外への進出です。日本の外食産業の海外進出はこれからますます多くなってきます。海外進出を考えているお客様の半歩先を見据え、何ができるのかということに向けて準備を進めています。その布石として、全米レストラン協会(NRA)の賛助会員となりました。

もう一つの挑戦が省力化です。日本社会の働き手が減っていくなかで、我々も変わらなければなりません。お客様の半歩先を行く取り組みとして、エアコン洗浄ロボットの導入を推進していきます。

株主の皆様のご期待に添えられるよう、日々精進してまいりますので、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

IRインフォメーション

株主優待制度									
●対象となる株主様	毎年2月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を1単位(100株)以上保有されている株主様を対象といたします。								
●株主優待の内容	<table><tr><th>保有株式数</th><th>優待内容</th></tr><tr><td>100株以上、300株未満</td><td>全国共通お食事券ジェフグルメカード 500円相当分の交付</td></tr><tr><td>300株以上、900株未満</td><td>全国共通お食事券ジェフグルメカード 1,000円相当分の交付</td></tr><tr><td>900株以上</td><td>全国共通お食事券ジェフグルメカード 3,000円相当分の交付</td></tr></table>	保有株式数	優待内容	100株以上、300株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 500円相当分の交付	300株以上、900株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 1,000円相当分の交付	900株以上	全国共通お食事券ジェフグルメカード 3,000円相当分の交付
保有株式数	優待内容								
100株以上、300株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 500円相当分の交付								
300株以上、900株未満	全国共通お食事券ジェフグルメカード 1,000円相当分の交付								
900株以上	全国共通お食事券ジェフグルメカード 3,000円相当分の交付								
※「全国共通お食事券ジェフグルメカード」とは、全国35,000店舗の加盟店でご利用いただけるお食事券です。									
●贈呈時期	毎年、定時株主総会終了後にお送りする「定時株主総会決議ご通知」とともに発送しております。								



「第2創業期」の締めくくりの年として、シナジーを創造できる異業種との協業、基盤事業の深耕・拡大に取り組んでまいります。

Q 2018年2月期(当期)の業績についてお聞かせください。

A 当期の業績につきまして、当社グループ売上高の大半を占める「緊急メンテナンスサービス」では、新規顧客の獲得に加え、既存顧客のサービス対象店舗数およびメンテナンスの対象種類の増加による依頼数の増加、夏場のエアコン更新の受注増により、堅調に推移しました。

突発的な設備・機器の不具合発生を未然に防ぐための「予防メンテナンスサービス」では、当社グループのメンテナンス実績が評価され、大手チェーン企業の店舗を中心に既存サービスであるエアコン、冷凍・冷蔵機器についての事前整備・点検・洗浄が好調に推移しました。

こうしたなか、当期同業M&Aいたしました株式会社テスコとシンプロメンテ株式会社のシナジーにおきましては、顧客対応におけるスピードの向上、「メンテキーパー」と呼ばれる協力業者の増加等による利益率の改善、事業領域の拡大などにおいて、すでにその効果が表れてきています。

そして、株式会社テスコの2017年9月から2018年2月の業績が加算された当社初の連結業績は、M&A後の改革が順調に進んだことで期初の業績予想を超える結果となり、売上高98億44百万円(期初予想96億円)、営業利益3億31百万円(同3億20百万円)、経常利益3億35百万円(同3億10百万円)、親会社株主に帰属する当期純利益2億50百万円(同2億円)となりました*。

Q 2019年2月期(今期)の展開をお聞かせください。

A 今期は株式会社テスコの業績が通期で連結決算に反映される初の年となります。安定的に売上高を確保・拡大していく施策に取り組みながら、販売費及び一般管理費の適正化に努め、早期における本格的な業績貢献を目指します。併せて、同社においては経営、組織、社員における意識だけでなく、社内的な文化においても「改革」を実行します。そして、グループシナジーにより、さらなる成長と経常利益率の向上を目指してまいります。

*当社は当期より連結決算へ移行したため、対前期増減率を記載しておりません。

当社は、2017年2月期(前期)より「第2創業期」と銘打ち、事業基盤の構築とさらなる飛躍への準備に取り組んでおり、東京電力エナジーパートナー株式会社、西部ガス株式会社といったシナジーを創造できる異業種との協業は成果が出はじめています。また、高速道路サービスエリアにおいて飲食等のサービスを行っている企業との業務提携も開始しました。そのほか、病院や自治体のメンテナンスに向けたサービスにも取り組んでおります。

今後も、店舗メンテナンスサービスをワンストップで提供するという事業モデルをさらに追求するとともに、さまざまな顧客に利便性と効率性を享受していただけるよう、メンテナンスサービスの質の向上に努めます。

そして、3か年の取り組みの最終年度となる今期は、これまで進めてきました計画をしっかりと実現してまいります。

これらの取り組みにより、今期の連結業績は、売上高133億円(前年同期比35.1%増)、営業利益5億円(同51.1%増)、経常利益5億4百万円(同50.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益3億17百万円(同26.8%増)を見込んでおります。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

A 当社は、長期的かつ総合的な株主利益の向上を図り、持続的に配当を行うことを基本方針としています。当期の期末配当は、予想では1株当たり12円としておりましたが、最終利益が予想を上回ったため、2円増配の1株当たり14円とさせていただきます。なお、当社は2017年11月1日を効力発生日として普通株式1株を3株に分割したため、前期の1株当たり配当金を遡及換算いたしますと10.66円となり、3.34円の増配となります。また、今期の期末配当は4円増配の18円を予定しています。

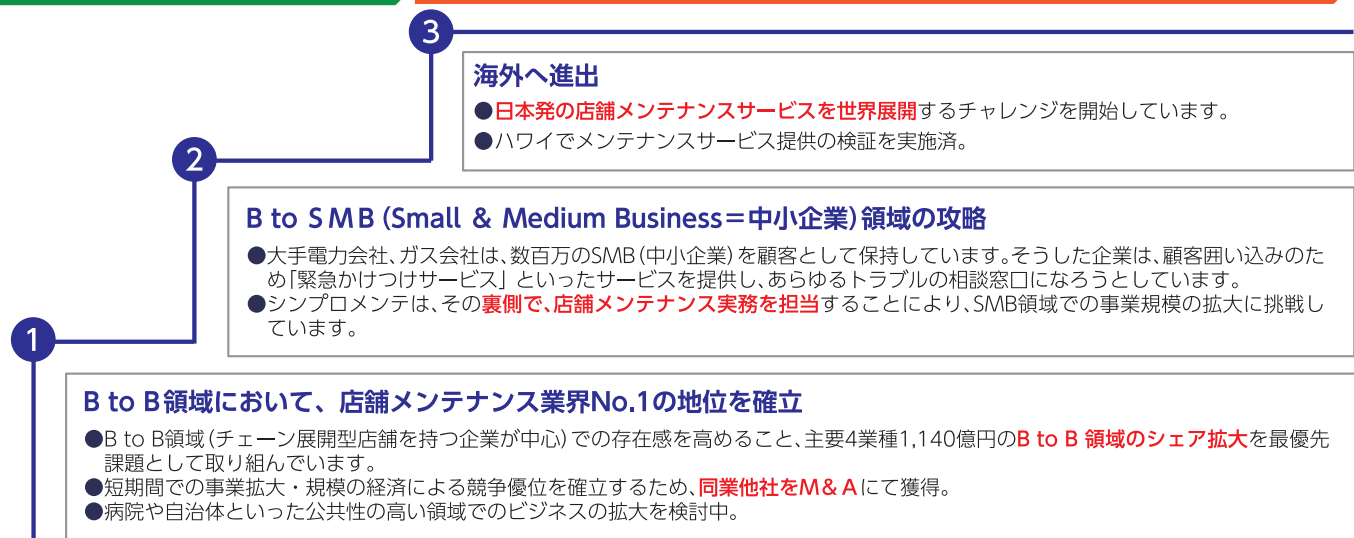
株主優待制度は保有株数に応じて「全国共通お食事券ジェフグルメカード」を贈呈いたします。

株主の皆様には、引き続きより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

特集 第2創業期以降の動きについて

第2創業期

第2創業期以降



1.「海外へ進出」の準備を開始

- 2018年1月 全米レストラン協会(NRA)の賛助会員になりました。
- 2018年5月19日~22日 シカゴで開催された「NRA Show 2018」に出展しました。



NRA賛助会員ロゴ



出典：Facebook NRA ページ

2.「エアコン洗浄ロボット」の推進

- 2018年4月13日に、エアコン洗浄ロボットの推進に関して、国内No.1のプレイヤーである日菱インテリジェンス株式会社と、業務提携に向けた基本合意書を締結しました。

ロボットを活用したエアコン洗浄のメリット

- ✓ **高品質** 何台洗浄してもロボットは疲れることがないので、高品質を維持することができます。
- ✓ **エコ** 高品質で洗浄することができるので、期待した節電効果を確実に得ることができます。
- ✓ **時間短縮** 作業員の習熟度によらず、短い時間で高品質の洗浄を行うことができます。
- ✓ **人員削減** 手洗浄よりも少ない人員数で洗浄作業を進めることができます。
- ✓ **クリーン** 手洗浄と比較して、作業現場が汚く見えない。

人手不足が叫ばれる昨今、自らの労働生産性向上、働き方改革を成し遂げ、より良いサービスを提供し続けることを目指しております。

